

第21回学術集会開催報告

安田 誠史 第21回学術集会会長

高知大学教育研究部医療学系連携医学部門（公衆衛生学）教授

がん登録の深化をテーマに、第21回学術集会を6月7-8日に高知県で開催させていただきました。千葉県で開催された第20回学術集会から一年もたたない、年度初めの開催だったため、たくさんの方がお越しになるか大変心配しましたが杞憂でした。10日の学術集会に136名、9日のがん登録担当者研修会に128名のご参加をいただき、また、10日のポスター演題では学術部門18題、登録室紹介部門14題、合わせて32題のご発表をいただきました。

学術集会当日は梅雨空が恨めしい生憎の天気でしたが、朝早くから多くの方にお集まりいただきました。今回から新しく、学術委員会が継続性のあるテーマのもとに主催することとなったシンポジウムでは、近年著しく届出精度向上が改善した県から、具体的な工夫や取り組みをご報告いただきました。他の県が、短期間で届出精度向上を実現することに役立つシンポジウムになりました。



▲会場は満員の大盛況でした



▲筆者

地域がん登録における生存率解析の具体的な方法を、講師陣から詳細かつ丁寧に教授していただいた担当者研修会は、各登録室での実務にただちにご活用いただける、実践的なものでした。参加者の関心に叶う講義をご準備いただいた講師の方々に厚くお礼を申し上げます。

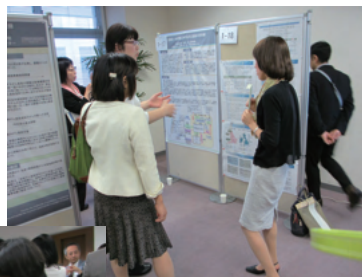
古く狭い会場での集会だったため、快適性の面では皆様にご満足いただけなかったのではないかと申し訳なく思います。しかし、内容の面では、皆様のご期待に応え、日本の地域がん登録の深化に貢献する学術集会にすることができました。この学術集会が、各登録室での業務の拡充につながる機会になれば望外の喜びです。

末筆ながら、集会の滞りない運営にご協力いただいた参加者の皆様に改めて感謝申し上げるとともに、来年度の秋田県での第22回学術集会のご盛会をお祈り申し上げます。



▲シンポジウムのようす

▼ポスター展示



▲研修会



▲土佐の「皿針(さわち)料理」に舌鼓…。

◀情報交換会



加藤次期大会長▶



▲第21回学術集会スタッフのみなさん

6/7(木) 6/8(金)

第21回 学術集会・研修会
at 高知県